

特別支援教育の現状について

島田市教育委員会 学校教育課
指導主事 増田七美

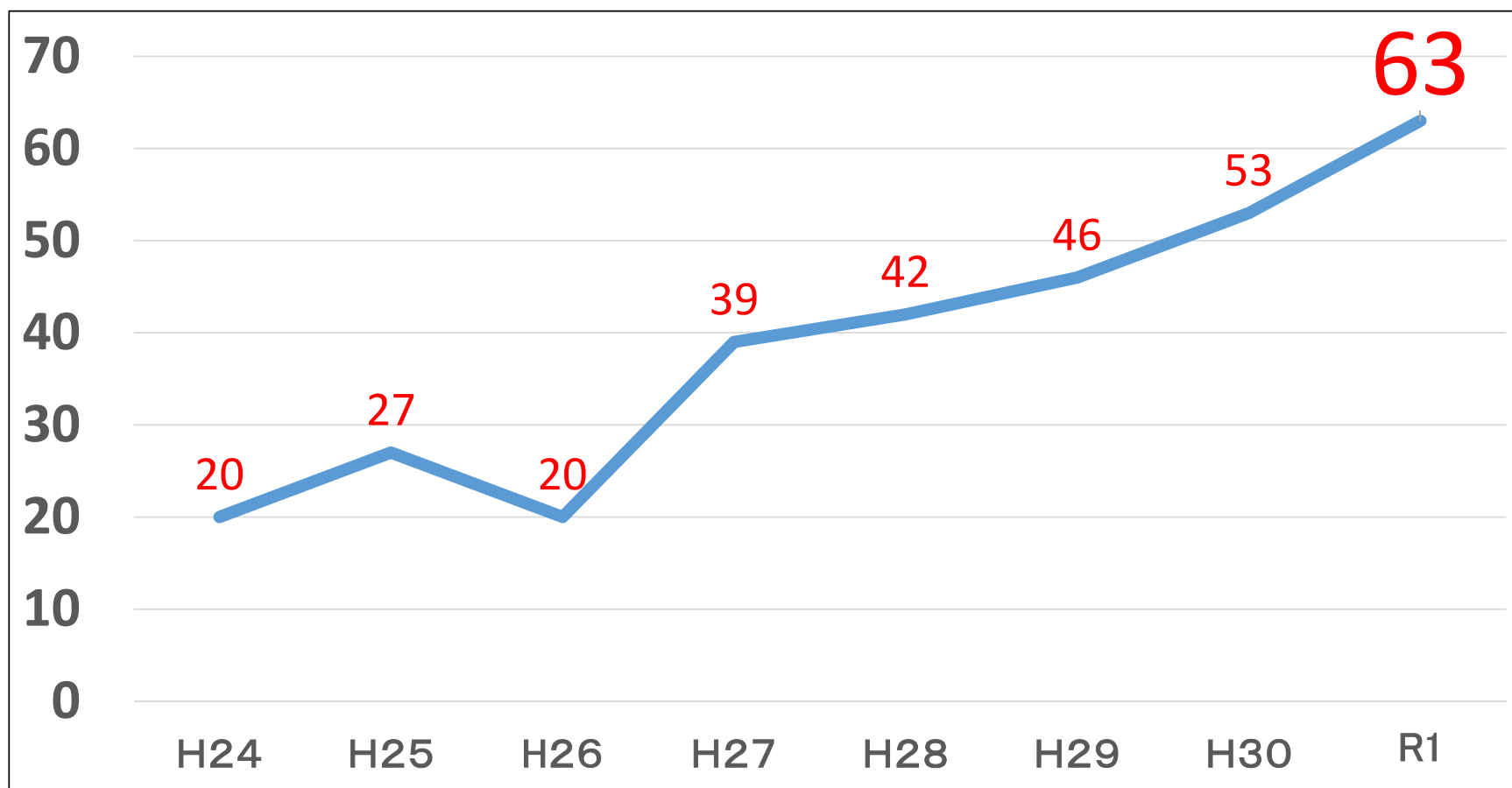
本日の流れ

- 1 園・他課との連携における成果
- 2 特別支援学級在籍数等の推移
- 3 拠点校方式における成果
- 4 さらなる特別支援教育の
充実に向けて（課題について）

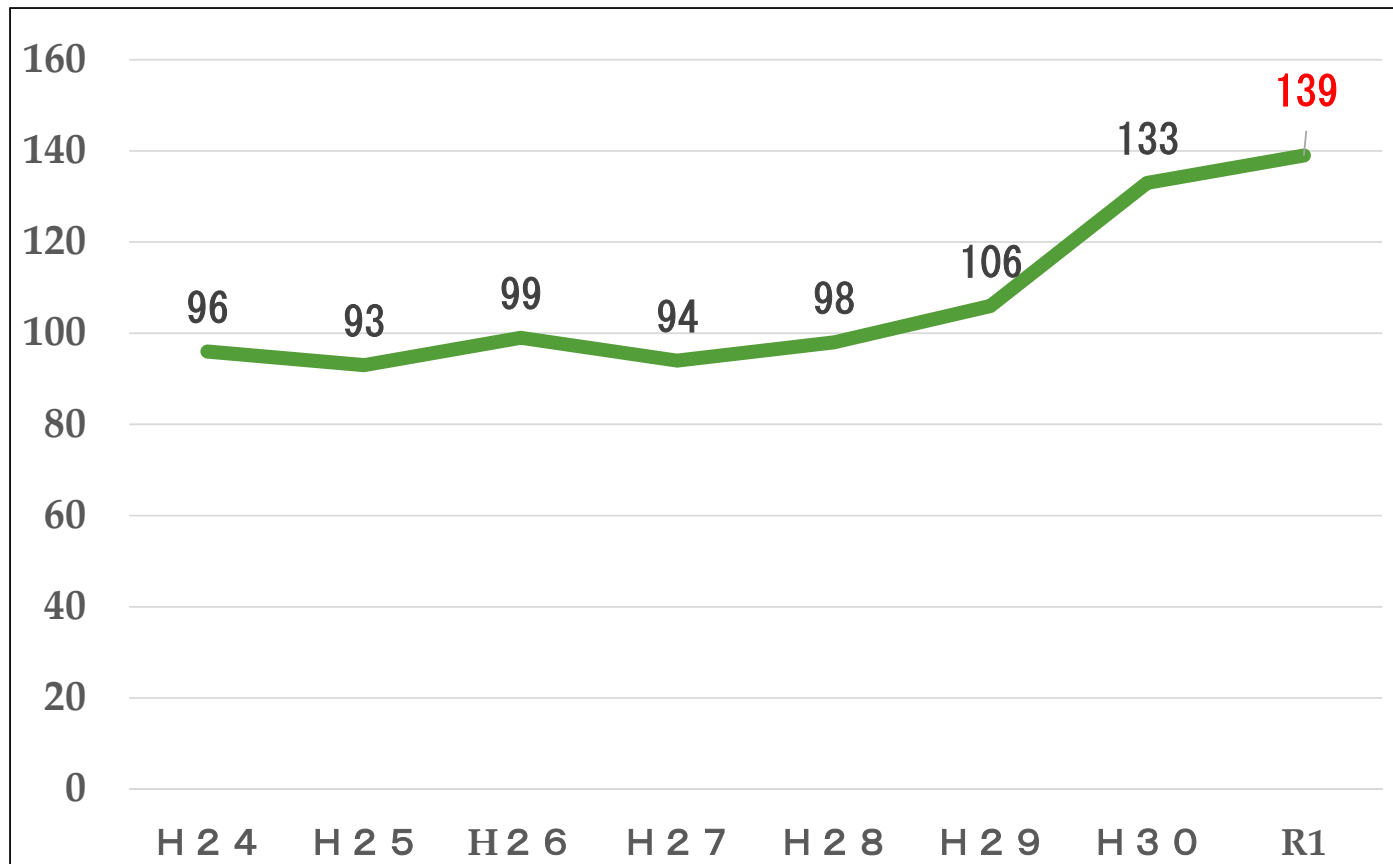
1 園・他課との連携における成果



(1) 年長児の就学支援 審議人数の増加



(2) 児童（小学生）就学支援 審議数の増加



(3) 審議数の増加（全体）

島田市就学支援委員会（全体）		審議人数 変化						
	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1
園	20	27	20	39	42	46	53	63
小学校	96	93	99	94	98	106	133	139
中学校	67	63	60	64	72	74	62	75
通級	80	90	114	123	145	143	156	159
計	263	273	293	320	357	369	404	436

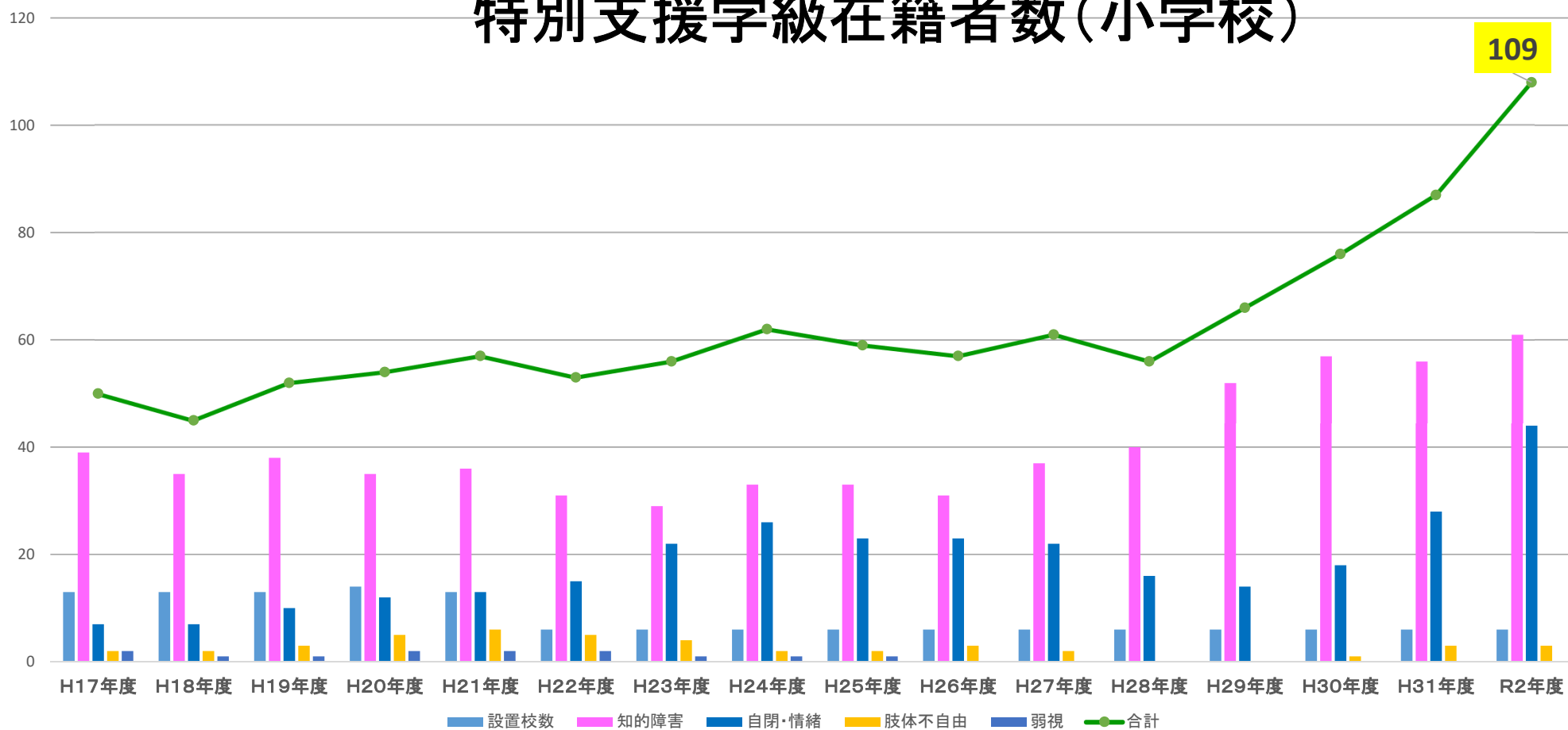
(4) 成果の理由

- ・ 学校教育課に**特別支援教育の指導員**を配置（H29～）
- ・ 毎月の**園長会**に参加し、就学支援について協力を仰ぐ
- ・ 子育て応援課との**常日頃の情報共有と連携**
- ・ 年中、年長児の**保護者対象の就学支援説明会**の実施
- ・ 園：**特別支援コーディネーターへの就学支援説明会実施**
- ・ **保育支援課と共同**で、保幼小合同研修を開催
- ・ **FACE TO FACE** で関係づくり（保護者・園）

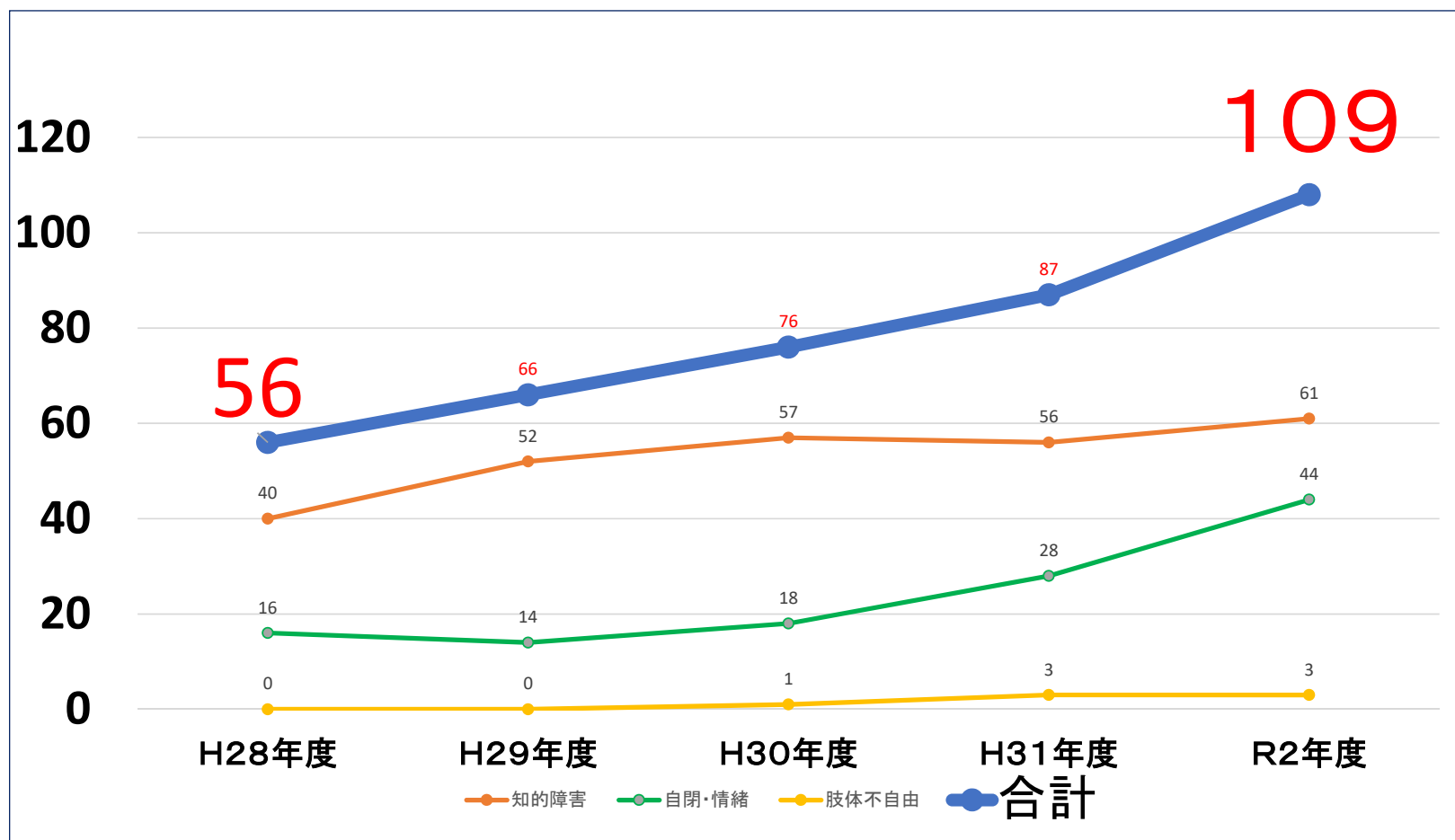
2 特別支援学級在籍者数の推移



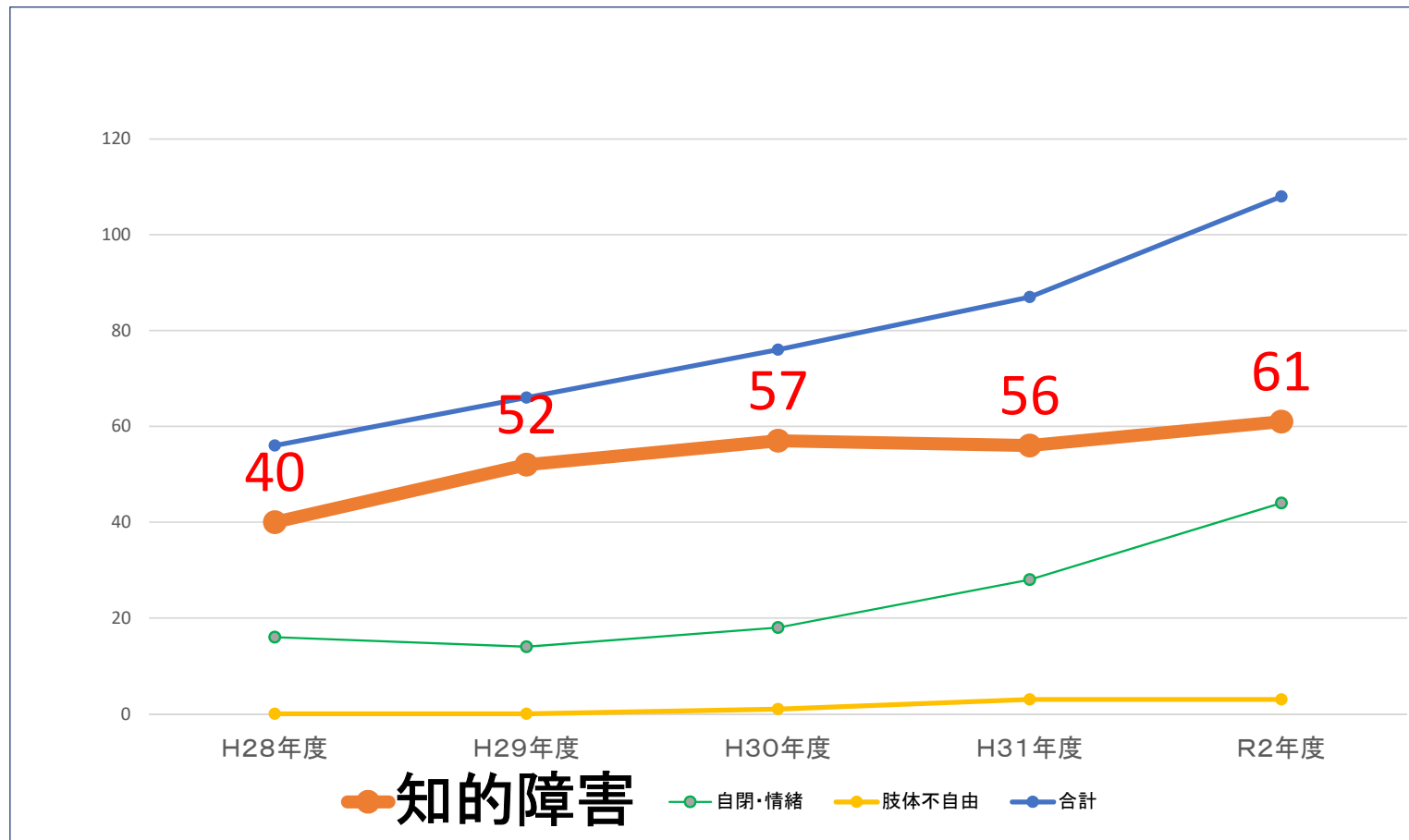
特別支援学級在籍者数(小学校)



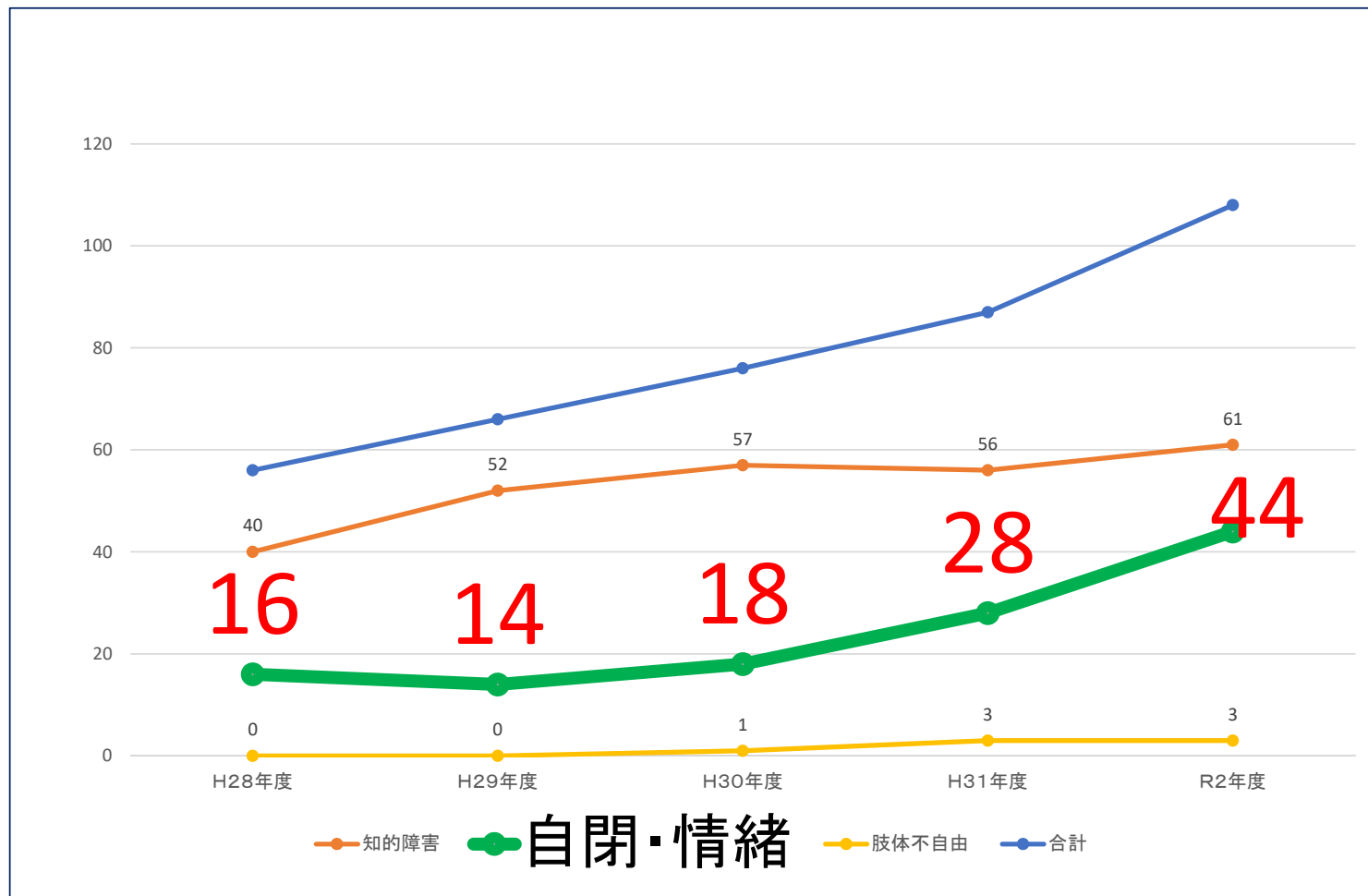
(1) 小学校 特別支援学級 在籍者数推移



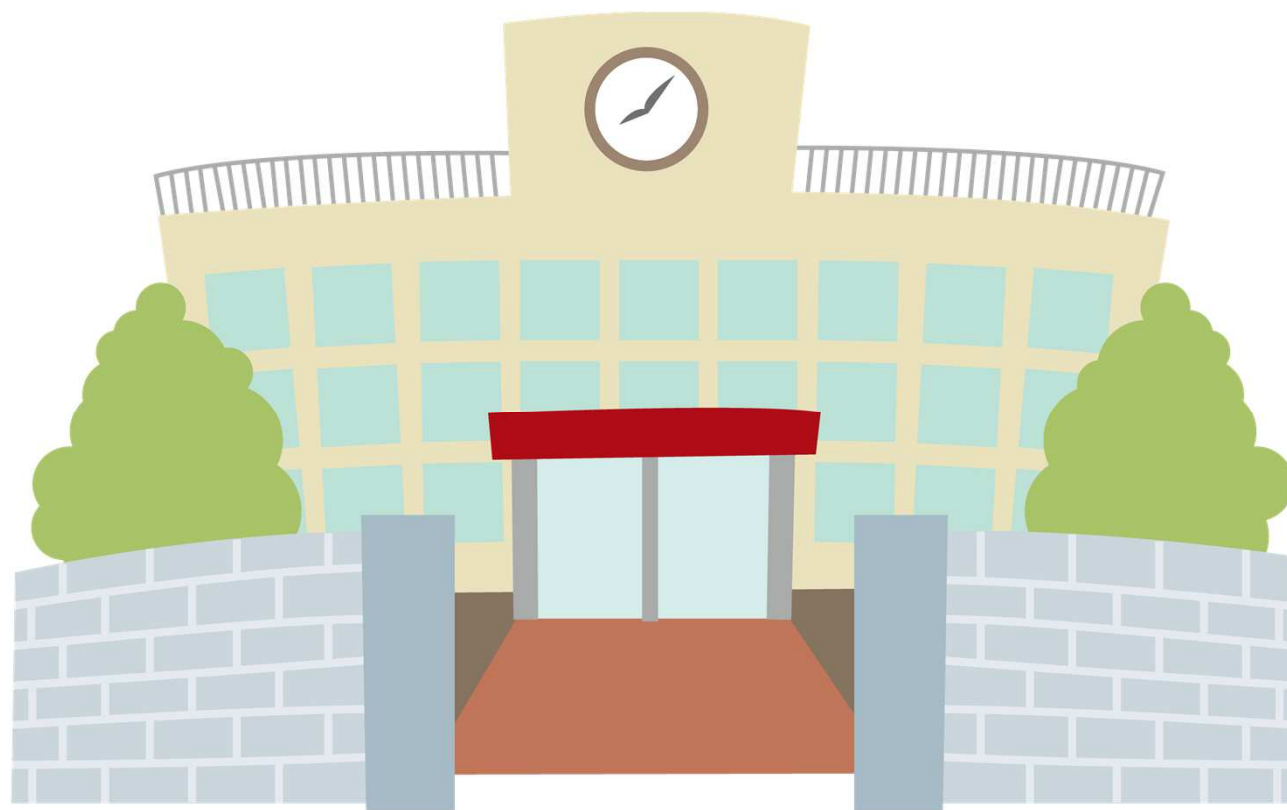
(2) 知的学級 在籍者数推移



(3) 自閉症・情緒学級 在籍者数推移



3 特別支援学級 拠点校の成果



(1) 子供同士の学び合いの充実

1学級あたりの人数について

H20年度

14学校に22学級

1学級あたりの人数は 2.45人



△在籍者数 1人が7クラスも！

(1) 子供同士の学び合いの充実

1学級あたりの人数について

H22年度（拠点校化スタート）

6学校に14学級



1学級あたりの人数は3.79人↑

(2) 教育活動の充実



- 異学年での学び合いが可能に
- ダイナミックな生活単元学習の展開
- 体育科で、集団スポーツが可能に
- 複数の教員による子供理解が実現



(3) チーム体制で人材育成（OJT）が可能

【R元年度】

島一小	4クラス→4人の教員	
島四小	3クラス→3人の教員	支援員
六合小	4クラス→4人の教員	支援員
初倉小	3クラス→3人の教員	支援員
金谷小	2クラス→2人の教員	支援員
川根小	2クラス→2人の教員	



ベテランの指導を間近で学ぶことができる環境

4 さらに特別支援教育の充実に向けて (課題について)



(1) 学級増加による教室数の不足

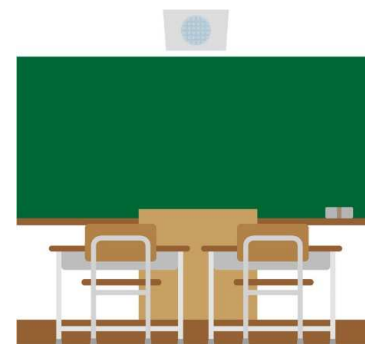
【R2年度】

六合小 支援学級 5クラス（1クラス増）

（R3年度は6クラスになる可能性もある）

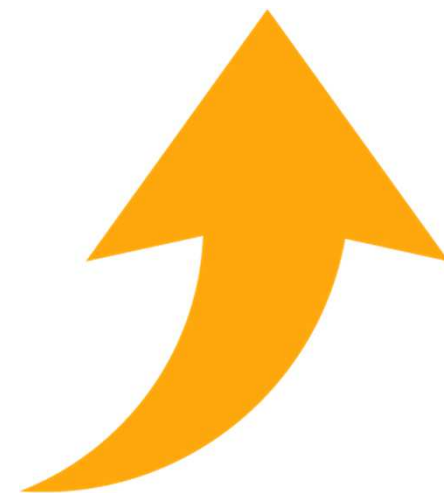
島四小 支援学級 4クラス（1クラス増）

→教室が足りない（拠点校）



(2) 自閉症・情緒クラス在籍者の急増

H7年度	7人
H22年度	15人
H29年度	14人
H30年度	18人
R1年度	28人
R2年度	44人



(2) 自閉症・情緒クラス在籍者の急増

【特性に加え、多様な課題を抱える子供たちが在籍】

- 不登校傾向
- 母子分離不安
- 過敏（聴覚、触覚等）
- 養育環境に困難さがあるケース
- 家児相と連携して支援する必要があるケース 等



(3) 1 クラスあたりの人数の増加

【R2年度 在籍者数 平均】

知的学級

6.1人↑

(R1は 5.09人)

自閉症・情緒学級


5.5人↑

(R1は 4.67人)

(H30は 3人)

(4) 学区外の児童在籍数の増加

島一小・島四小	学区外の児童は	62%
六合小	学区外の児童は	55%
	自閉情緒学級においては	66%
初倉小	学区外の児童は	37%
金谷小	学区外の児童は	27%
川根小	学区外の児童は	0%



島田市の特別支援学級の在り方について
ご意見をお聞かせください

学校教育課 増田七美